



海外留学

を学生時代にしたい



★目次

- 0. このガイドの目的
- 1. 海外留学の準備のために
- 2. 海外留学
- 3. 留学のための情報収集

「Paste（ぱすて）」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

0. このガイドの目的

このガイドは、「阪大生のための海外留学ガイドブック」の理解を深めるためのガイドです。留学の準備を進める上で、学生の皆様の何かしらのヒントとなればと思い、作成しました。まずは、以下のガイドブックを読んでください。

・阪大生のための海外留学ガイドブック Study Abroad Guidebook for Osaka University Students 2024-2025 版 / 教育推進部学生交流推進課

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/files/ryugakuguidebook.pdf>

(阪大 Web サイト → 国際交流・留学 → 大阪大学から海外留学したい方 → 海外留学制度)

1. 海外留学の準備をするために心得ておきたいこと

1-1. 海外留学の「目的」を考えましょう

海外へ行きたい、語学を伸ばしたい、自分の興味のある分野の勉強をしたいなど、海外留学のモチベーションは人それぞれだと思います。けれど、「本当にその留学は自分にとって必要なのか。」そのことを考えることから始めましょう。語学の向上や海外の友達を作るといったことは留学をしなくてもできることかもしれません。海外留学する「目的」を改めて考えてみてください。

また、海外留学は、交換留学などの短期留学と学位取得のための長期留学に分かれます。短期留学の経験は、就職活動においてアピールポイントとして活用できます。自分の進路について考えながら、留学の計画を立てましょう。

1-2. 保護者の方や信頼する人と相談しましょう

海外留学は、字義通り、ある程度の期間を海外で過ごすこととなります。日本にいたときのような生活はほぼ不可能と言っていいでしょう。責任を持つのは海外留学をする本人なのです。現地での学費・生活費・旅費をはじめ、留学には多額の費用がかかります。留学のための資金をどう確保するか(たとえば自分でアルバイトする・奨学金を受給するなど)についても、保護者などあなたの家計に関わる方を交えて検討しましょう。

1-3. 時間に余裕を持って留学計画を立てましょう

留学する期間を問わず、海外留学する最低一年前から留学の準備が始まります。その理由は、海外と日本の学年暦が異なることを筆頭に、留学に必要な書類の準備(例えば、ビザの申請、滞在先の手配、海外保険の加入など)を進めないといけないからです。事前に留学先の現地事情を把握して、その地域では入手できないもの(例えば食料品や医薬品)を準備しておくことをお勧めします。

2. 海外留学

留学の種類は大きく分けて2つあります。ここでは、「①大阪大学のシステムを使った留学」と「個人が主体となって留学する②個人留学」の2つに分けて紹介します。

2-1. 大阪大学のシステムを使った留学

大阪大学のシステムを使った留学とは、大阪大学が留学の窓口となり、海外留学を行うことです。大阪大学のシステムを使った留学は、留学する期間の長さに基づき、大きく二つに分類できます。

- ① 短期型の語学研修等のプログラムやインターンシップ(夏休みや春休みを利用)
- ② 大阪大学交換留学制度および各学部・研究科が提供する留学(一学期間もしくは一年間の留学)

大阪大学の学費で海外の大学へ留学することを意味します。なお、留学先で取得した単位で、所属学部・研究科で認められたものは、卒業・修了単位として加算されます。

ただし、主に三回生前期以降、留学をする場合、卒業・修了が遅れる場合もあります。そのため、就職活動にも影響がないとは言えないため、事前にしっかり計画を立てて下さい。

大阪大学交換留学制度を利用する場合、協定校が定める語学能力基準のほか、大阪大学における基準(Toefl iBT 79 もしくは IELTS 6.0 を満たす)を証明する書類が必要です。

・TOEFL iBT や IELTS のスコアを上げるための勉強方法は？

ここで、外国語の代表として英語を例に、活用能力の強化を重視してください。まずは参考書の模擬試験を受けてみましょう。そこで、自分の英語のレベルが分かります。自分が苦手なセクションは、各セクションに対応した参考書を利用して、克服していきましょう。また、英語を使うことに慣れることが大切です。英語で日記を書いたり、通学中に英語のニュースを聞いたりなどして、工夫して英語を生活の中に取り込んでいきましょう。

「TOEFL iBT に挑戦する」(大阪大学附属図書館パスファインダー)

https://www.library.osaka-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024_AH-021.pdf

2-2. 個人留学

個人留学とは、阪大の海外留学のシステムを使わずに個人で留学を行うことです。自分で留学先を探す必要がありますが、その分大阪大学のシステムを利用する留学に比べて選択肢が増えます。

夏休みや春休みなどの休暇を利用する個人留学では、卒業・修了への影響はありません。しかし、1 学期もしくは 1 年間の個人留学を希望する方は、次の二点に注意してください。

- ① 留学先の大学や研究機関の授業料を自分で納める必要があります。
- ② いずれの期間での留学の場合も、大阪大学での修業年数としてカウントされません。
→卒業や修了が遅れてしまうこともあります。

・留学先の探し方

学生によって、留学する国や地域はもちろんのこと、留学の目的が異なるので迷ってしまうと思います。ここでは、個人で留学先を探すために情報を得るためのサイトを紹介します。

海外留学支援サイト(<https://ryugaku.jasso.go.jp/index.html>)

日本学生支援機構(JASSO)が運営する、海外留学を考える方への情報サイト。英語圏のみならず、様々な国・地域での留学についての情報が掲載されています。

3.留学のための情報収集

3-1. 留学する国や地域、留学先の学校について調べる

留学する国や地域によって情報のばらつきがあります。そこで、より良い情報を入手するために次の方法をお勧めします。

① 留学する国の大使館や志望大学の公式サイトで、最新情報を手に入れましょう

必ず公式な情報源を自分の目で確かめて、正確な情報を収集しましょう。なお、残念ながら必ずしも第一志望の大学に合格できるわけではありません。第一志望の大学への志願方法を詳細に確認するとともに、念のため他大学についても情報を収集することをおすすめします。

② Facebook や instagram、X(旧 Twitter)、TikTok などの SNS を利用しましょう

SNS 上に大学や留学生をサポートする学生団体等の公式アカウントがあります。現地の生活が想像しやすくなり、最新の情報を手に入れることができます。一度、公式アカウントがあるのかどうかを確認することをお勧めします。留学先の大学や専門学校の英語表記もしくはその国や地域で使われる公共語で検索しましょう。

③ 留学先へ留学経験がある人の話を聞きましょう

実際に現地で学んだ経験のある人からのアドバイスをもらいましょう。大阪大学のシステムを使って留学する場合、学部・研究科等の派遣留学相談担当窓口や、各キャンパスにある国際教育交流センターで、情報を収集してみましょう。

派遣留学相談担当窓口:https://ciee.osaka-u.ac.jp/study_abroad/consultation/

3-2. 奨学金の情報について調べる

大阪大学には学生の留学をサポートする奨学金制度があります。

・留学助成制度—大阪大学 (<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/scholarship>)

(阪大 Web サイト → 国際交流・留学 → 大阪大学から海外留学したい方 → 留学助成制度)

上記のサイトでは、大阪大学が提供する奨学金制度を公開しています。留学に関する奨学金は、KOAN や各学部・研究科の掲示板などにも公表されているので、定期的に確認してみてください。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

